令和７年度　地域情報化アドバイザープロフィール

ふりがな	ふくだ　こういち	
氏名	福田　浩一	
所属・役職	株式会社日本農業サポート研究所　代表取締役	
略歴	1984 年 4 月　　全国農業改良普及協会（現在の全国農業改良普及支援協会）入会 2003 年 11 月　JICA 農業普及短期専門家として中国に派遣され、中国の普及システムおよび普及情報システムについて助言 2005～2006 年　インドネシアで開催された APEC のワークショップに派遣され、日本の農業指導現場等でのＩＴ活用について講演 2007 年 4 月　　同協会情報部部長 2008 年 5 月　　東京農業大学　　博士号（農業経済学）取得 2010 年 3 月　　同協会退会 2011 年 4 月　　株式会社日本農業サポート研究所設立、代表取締役に就任 2019 年 12 月～2020 年 3 月　静岡県スマート農業推進プロジェクトデザイナー 2021 年 4 月～　秋田県立大学アグリイノベーション教育研究センター外部評価委員 2021 年 4 月～　ひろしま型スマート農業推進事業アドバイザー 2021 年 8 月～2022 年 3 月　広島県立農業技術大学校スマート農業検討委員 2021 年 12 月～2025 年 3 月　JICA、課題別研修「農業・農村 DX/スマートフードチェーン共創に向けた産官学人材育成（A）」の企画・実施に係るアドバイザー 2024 年 4 月～　総務省地域情報化アドバイザー 2023 年 8 月　　バングラデシュで開催された APO（アジア生産性機構）の研修会に派遣され、リソースパーソンとして日本の農業普及およびスマート農業の現状と今後の方向について講演 2024 年 5 月　　台湾で開催された APO（アジア生産性機構）の研修会に派遣され、リソースパーソンとして日本の野菜生産における革新的技術の動向について講演 2024 年 12 月　　APO（アジア生産性機構）の YouTube channel でスマート農業の今後の展望について講演 2019 年 4 月～　都道府県、農水省、学会におけるスマート農業の講演と助言 ・普及指導員を対象に、奈良県、栃木県、長野県、滋賀県、三重県、山口県、熊本県、改良普及職員九州ブロック協議会、農林水産研修所つくば館などが主催するスマート農業および AI 導入・活用の研修会で講演を行い、今後の普及活動について助言 ・青森県、岩手県、福島県、神奈川県、千葉県、滋賀県、徳島県、福島県などの生産者、市町村職員などを対象に、スマート農業の講演を行い、今後のスマート農業の利用方法について助言	

		・農林水産省関東農政局のスマート農業マッチングフェアや、東北ハイテク研究会、実践総合農学会、農林水産省、農研機構、学会などで講演 【著書】 2010 年 3 月　IT 活用で変わる農業普及　東京農業大学出版会 2019 年～　WEB マガジン SMART AGRI にて、【連載】“生産者目線”で考えるスマート農業を執筆中 2020 年 2 月　事例から考えるスマート農業実証プロジェクトにおける経営評価の現状と課題　関東東海北陸農業経営研究会 2023 年～　WEB マガジン WEDGE オンラインにて、農業、農協、農産物輸出などについて執筆中 2023 年 8 月　「みどりの食料システム戦略」の実現に向けたスマート農業の現場　野菜情報　独立行政法人 農畜産業振興機構 【委員等】 2016 年～2022 年　神奈川県・福井県普及事業外部評価委員 2010 年～　日本農業普及学会国際交流委員会委員
地域情報化の専門分野・技術		地域での ICT 活用、スマート農業および農業 DX、生成 AI・AI エージェントの導入・活用
専門分野		ＡＩ活用 生成ＡＩ活用 計画策定支援（地域情報化計画・官民データ計画・自治体 DX 推進計画等） 人材（ＤＸ推進のための機運の醸成） 人材（ＤＸに関する知識習得・研修・育成） 教育情報化／情報教育 農林水産業 スタートアップ支援（起業支援）
自治体向けメッセージ		課題が山積する日本の農村を支える自治体の皆さんに、生産者目線でサポートできればと思います。とくに近年進化の著しい生成 AI・AI エージェントなどのデジタル技術を現場で利用する際の課題と今後の方向について、課題の分析を行った上で、皆さんと意見交換しながら、最適な AI の導入などの提案したいと思っています。
関連サイト		http://www.ijas.co.jp/index.htm https://smartagri-jp.com/writer/66 https://wedge.ismedia.jp/list/author/%E7%A6%8F%E7%94%B0%E6%B5%A9%E4%B8%80 https://www.apo-tokyo.org/event/future-prospects-for-smart-agriculture/
地域情報化に関する実績	これまでの経験業務・研究活動	2017 年 4 月～2020 年 3 月　革新的技術開発・緊急展開事業（農林水産省）のビジネスモデル構築 ・愛媛県と広島県のカンキツを対象に経営体調査と市場調査を行い、新しい販売形態を考慮に入れたビジネスモデルの構築を行った。 2019 年 4 月～2021 年 3 月　クロノロジー型情報共有システムの設計と実態調査 ・農研機構が実施した「中国中山間地域の農業振興に資する地産地消型スマートフードチェーン構築のためのクロノロジー型情報共有システムの開発」に当たり、システムの課題や今後の方向等を整理した。 2019 年 12 月～2020 年 3 月　静岡県スマート農業推進プロジェクトデザイナー ・浜松型スマート農業の提案、３カ年計画作成。中小規模農家向け、シェアリング・リースの積極的活用、地場企業製品の活用について提案した。 ・８つの営農類型ごとに導入が考えられるスマート農業機器の提案、導入可能性について整理した。 2021 年 4 月～2025 年 3 月　ひろしま型スマート農業推進事業アドバイザー

		・ひろしま型スマート農業推進事業を効果的かつ円滑に推進するため，推進事業に係るコンソーシアムの取組における課題解決を支援するひろしま型スマート農業推進事業サポートチームにおいて、現地を実際に訪問するなどして、コンソーシアムメンバーに助言等を行った。 2021 年 8 月～2022 年 3 月　広島県立農業技術大学校スマート農業検討委員 ・大学校教員対象にスマート農業の講演を行った。 ・広島県農業技術大学校全体構想の策定・検討に関して、検討委員会で、助言、提案などをオンラインで行った。 2021 年 12 月～2025 年 3 月　JICA、課題別研修「農業・農村 DX/スマートフードチェーン共創に向けた産官学人材育成（A）」の企画・実施に係るアドバイスを行った。 2019 年 4 月～　都道府県、農水省、学会におけるスマート農業の講演と助言 ・普及指導員を対象に、奈良県、栃木県、長野県、滋賀県、三重県、山口県、熊本県、農林水産研修所つくば館などが主催するスマート農業の研修会で講演を行い、今後の普及活動について助言した。 ・青森県、岩手県、福島県、千葉県、神奈川県、滋賀県、徳島県、福島県などの生産者、市町村職員などを対象に、スマート農業の講演を行い、今後のスマート農業の利用方法について助言した。 ・農林水産省関東農政局のスマート農業マッチングフェアや、東北ハイテク研究会、実践総合農学会など、農林水産省、農研機構、学会などで講演を行った。
	これまでに関与した地域情報化に関するプロジェクト	2019 年 4 月～　国のスマート農業実証プロジェクトでの運営での助言および経営評価 「スマート菜花米実証コンソーシアム」（福井県）、「浜松市中山間地スモールスマート農業実証コンソーシアム」（静岡県）、「静岡県スマートみかん実証コンソーシアム」（静岡県）、「三重南紀地区カンキツ産地スマート農業実証コンソーシアム」（三重県）、「柏原市スマートブドウ生産実証コンソーシアム」（大阪府）、「ブロッコリー機械化一貫体系実証コンソーシアム」（静岡県）、「とくしまミニトマト省力化コンソーシアム」（徳島県）、など計 13 案件に参画し、運営・進行等に関する助言、スマート農業導入前後の経営評価などを行った。